

道教委では、道立学校のデータ管理等業務の負担軽減を図るために令和5年度から共有ファイルストレージサービス（道立スクールドライブ、以下「Sドラ」とする。）を整備しています。本号では、Sドラのほか、リニューアルした「ICT活用ポータルサイト」について紹介します。

道立学校で「Sドラ」の活用を！

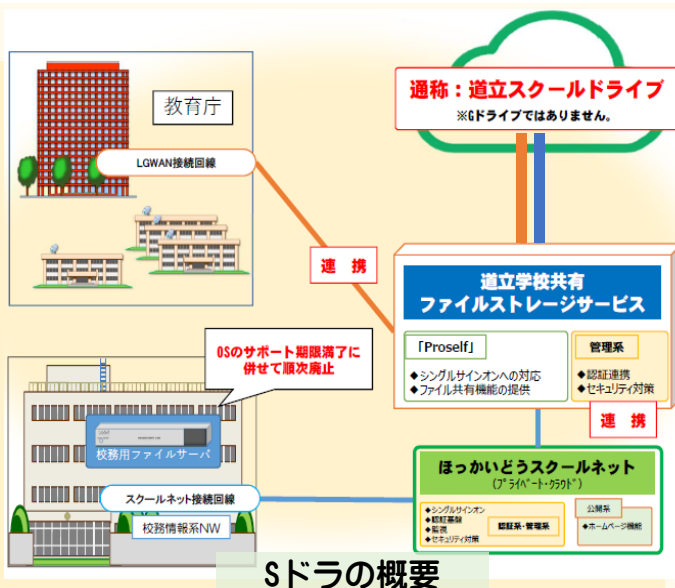
道立学校に整備されているSドラは、今年度から道教委の各部署においても本格運用が開始され、本庁各課や教育局からの通知等も格納され始めています。

本号では、改めてSドラに関する内容をお知らせしますので、情報セキュリティ対策の一環として、Sドラの活用推進を各学校で図るようお願いします。



1. Sドラとは？

- ☐ 高いセキュリティ環境を確保
ほっかいどうスクールネットと連携することで、高いセキュリティ環境を実現しているため、安心して利用できます。
- ☐ 大容量データのやりとりが可能
電子メールなどと異なり、大容量のデータを送受信できます。また、各学校の共有ファイルストレージのデータ保存容量は、従来の校内ファイルサーバと同容量を確保しています。
- ☐ アクセス制御が可能
各学校の共有ファイルストレージは他校職員から閲覧できないだけでなく、校内で作成するフォルダはアクセス権限を付与することができますので、管理職や分掌ごとなど制限をかけて使用することが可能です。



Sドラの概要

2. Sドラの利用方法

- ☐ シングルサインオン（SSO）で利用

WebブラウザからSドラにアクセスするとSSOのログイン画面が表示されますので、ユーザーID、パスワードを入力してログインします。

- ☐ Proself Clientで利用

WebブラウザからSドラにアクセスすることもできますが、Windows Explorerと統合されたSドラ用のソフトウェア「Proself Client」を利用すると、Explorerと同じ感覚でファイルの扱うことができます。

Proself Clientでの利用をお勧めしています。



3. 受取フォルダの活用

- ☐ 「受取フォルダ」機能を利用することで、道立学校間で設定したフォルダ内へのみファイルをアップロードすることができます。
※各種研究会などの参加申込書類やりとり（道立学校間）等、今までは電子メールを複数の学校から集約していたのを省力化することができます。

※参考：令和5年（2023年）8月4日付け教ICT第203号「道立学校の共有ファイルストレージサービス（道立スクールドライブ）の構築について」

令和6年（2024年）11月19日付け教ICT第431号「GIGAワールド通信第44号の発行について」

